

## 第1回学校関係者評価委員会議事録

日時：令和 3年 10月18日（月）

13：00～14：30

場所：八戸理容美容専門学校 会議室

出席者：村舘 清美	（学校評議員）	苫米地 三男	（学校評議員）
飯田 勉	（学校評議員）	名久井 勝彦	（学校評議員）
梅田 智恵美	（学校評議員）		
佐々木 由香子	（企業委員）	勝田 房子	（PTA 会長）
中村 晴美	（PTA 副会長）		
事務局：伊藤 有信	（学校運営）	佐々木 哲子	（学校運営）
笹山 留美子	（学校運営）	長根 美佐子	（担当責任者）

### 議事

#### 1：学校長挨拶

本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

学校のコロナ状況ですが、陽性者が3人、濃厚接触者も出ておりまして、1学年の学年閉鎖しました。コロナの関係で、さまざまな行事が中止になっていますが、みなさんのご協力のおかげで先日、校内競技大会を開催いたしました。本日、出席の佐々木由香子委員に、審査委員長としてご協力して頂きました。

今日の会議もよろしくお願ひします。

#### 2：委員紹介

本日は、学校関係者評価委員 8名、学校からは 4名の出席になっております。

今回は、委員長の村舘委員に議長をお願いしております。

#### 3：委員長挨拶

本日第1回学校関係者評価委員を開催いたします。

#### 3：資料配布の確認

伊藤校長 ① 校長通信「矜持」

長根 ② 教職員評価報告書 ・ 学生アンケート集計結果分析

#### 4：理事長挨拶

本日はお忙しい中ありがとうございます。校長からの話にもありましたが、コロナ感染症の影響で、学校評価委員会も延期になり、少し遅れての開催になりました。学校での陽性者はだしましたが、クラスターは出ていません。先生方が一生懸命対応して、消毒や換気もしっかりしてくれています。しかし、コロナ感染症が陽性になり、自宅待機になる学生に対してリモートで授業をする環境がない為、学生が自宅待機になってもリモートで授業ができる環境を整えていきたいと思ひます。今日はよろしくお願ひします。

5：村舘 校長先生の方から、本年度の教育方針、教育目標、情報発信についてお願いします。

6：伊藤 教育方針については、「魅力ある学校作り」をしていきたいと思います。魅力ある学校作りとは、1つは学生の夢が達成できる学校、2つ目は学校生活や授業が楽しいと思ってもらえる学校、大きな目標この2点だと思います。授業について先生方をお願いしているのは、分かると実感できる又は、出来ると実感できる授業をしてほしい。あと1つは、学校生活が充実して、人間関係や学校行事、八理美に入学して良かった思える様な状況を作りたい。ただ、学校行事等對外含めて、中止になってできない状況になっていることは、学生には申し訳ないと思います。そのなかで、ヘアショーや校内競技大会が開催できてよかったですと思います。

教育目標については、1つは「礼儀作法」です。挨拶を含めて一生懸命取り組んでいきます。2つ目は「清潔・整頓」です。清潔に関しては、教職員全員で消毒をていねいにきちんとしてくれています。

佐々木 集計結果について、全保護者、全生徒が対象になっているのか

長根 今回のアンケートは、スマホを使ったさくらメールで実施しました。今回は任意のアンケートになっていますので、全保護者、全生徒の回答は得られなかったが、保護者に関しては、何名かの回答は得られなかったものの、学生に関してはほぼ全員の回答が得られた。

伊藤 保護者に関しては、スマホなどネット機能がない携帯などを使用している方もいる。今後は、紙でのアンケートも検討したい。

村舘 自分達は、学校に来てこの様な場に参加しなければ、学校がメールやホームページなどで様々な情報を発信していることがわからなかった。

伊藤 今回、保護者からのアンケートを取りましたが、アンケート結果をホームページにアップしても見えていない保護者もいると思います。対策として紙資料で渡すべきかもしれませんがこれから検討したい。

佐々木（由） 学生の成績表などは、自宅に郵送しているのであればその中にアンケートや校長通信「矜持」などを一緒に同封してみてはどうか。

伊藤 内容等を考慮し、検討したいと思います。

佐々木（由） 学生アンケートにある、家庭学習について、学校から学科の勉強や技術の練習などの課題などでしているのか。

伊藤 学年差や個人差はありますが、少しでも学生に家庭学習をする習慣が身につくよう課題の出し方や内容を工夫していきたい。また、全職員で学生を指導支援し、国家試験で全員合格出来るようにしていきたい。

村舘 学生アンケートに、確認しながら授業を進めていくとありますが、どの程度まで理解したら次に進んでいきますか

伊藤 授業を組むときに、例えばここまで理解していなければ次に進めないとか、学生に小テストなどをして到達度を確認し、理解していない学生が半数以上いるようであれば、もう一度やり直し、多くの学生が授業を理解出来るようにしている。来年度の授業における目標は、授業の充実を図り、授業に対してのより細かいアドバイスなどもしていきたい。その一環として、学生に対して「今日の授業は何をするのか。」必ず板書する、もしくは、学生に今日の授業は何を学ぶのかを話をする、そして、最後に授業の目標に到達しているかどうか確認する。出来ていないようであれば、宿題などを出して理解度を確認していくよう全教員に徹底していきたい。

名久井 例えば、就職が決まっていた学生が、国家試験が不合格になった場合、企業からの就職取り消しなどがありますか。また、国家試験が不合格になった学生に対して、学校側は、こういった支援をしていますか。

佐々木 今のところは、国家試験が不合格になったからといって就職取り消しする企業はないです。不合格の学生に対しては、合格発表後学校側から連絡をして、次の国家試験まで支援をしています。

村舘 質問等が無いようであれば、本日の学校評価委員会を終わりたいと思います。本日は、ありがとうございました。